

議員提出議案第5号

台湾の世界保健機関へのオブザーバー参加を求める意見書

上記の議案を提出します。

令和2年6月16日

中野区議会議長 高橋 かずちか 殿

提出者 中野区議会議員

伊藤 正信

木村 広一

ひやま 隆

白井 ひでふみ

大内 しんご

酒井 たくや

長沢 和彦

## 台湾の世界保健機関へのオブザーバー参加を求める意見書

新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い、世界保健機関（以下、「WHO」）は、1月30日、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言しました。

WHOの5月30日付けの統計では、世界全体で新たに確認された1日あたりの感染者数は、これまでで最多となるなど世界的な感染拡大の勢いは依然、衰えていません。これまで以上の国際協力が必要とされている中、世界的な公衆衛生危機対応の強化は不可欠であり、防疫に係る望まれない地理的空白を生じさせることはあってはなりません。

台湾は、2009年以降、8年連続でWHO総会へオブザーバー参加し、保健衛生分野において国際貢献してきたにも拘わらず、2017年より参加ができおらず、まさに地理的空白となっています。

WHO憲章は、「人種、宗教、政治信条や経済的・社会的条件によって差別されることなく、最高水準の健康に恵まれることは、あらゆる人々にとっての基本的人権のひとつ」と掲げており、台湾がいかなる政権であっても、保健衛生分野の豊富な知見・経験を持つ台湾の参加を妨げてはなりません。

よって、中野区議会は、国会及び政府に対し、台湾のWHOへのオブザーバー参加実現に向けて、国際社会に対しての働きかけをこれまで以上に強化することを要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣           あて  
外務大臣  
厚生労働大臣  
内閣官房長官

中野区議会議長名